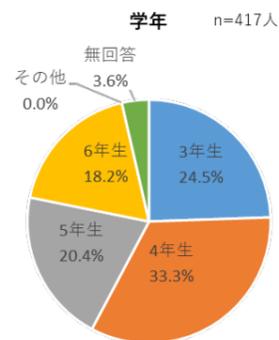


1. 調査対象と回答状況

相模台小学校生徒 3年生～6年生 (520人) を対象にアンケート用紙を学校にて配布。

【回答状況】

417人/520人 (回収率：80.1%)



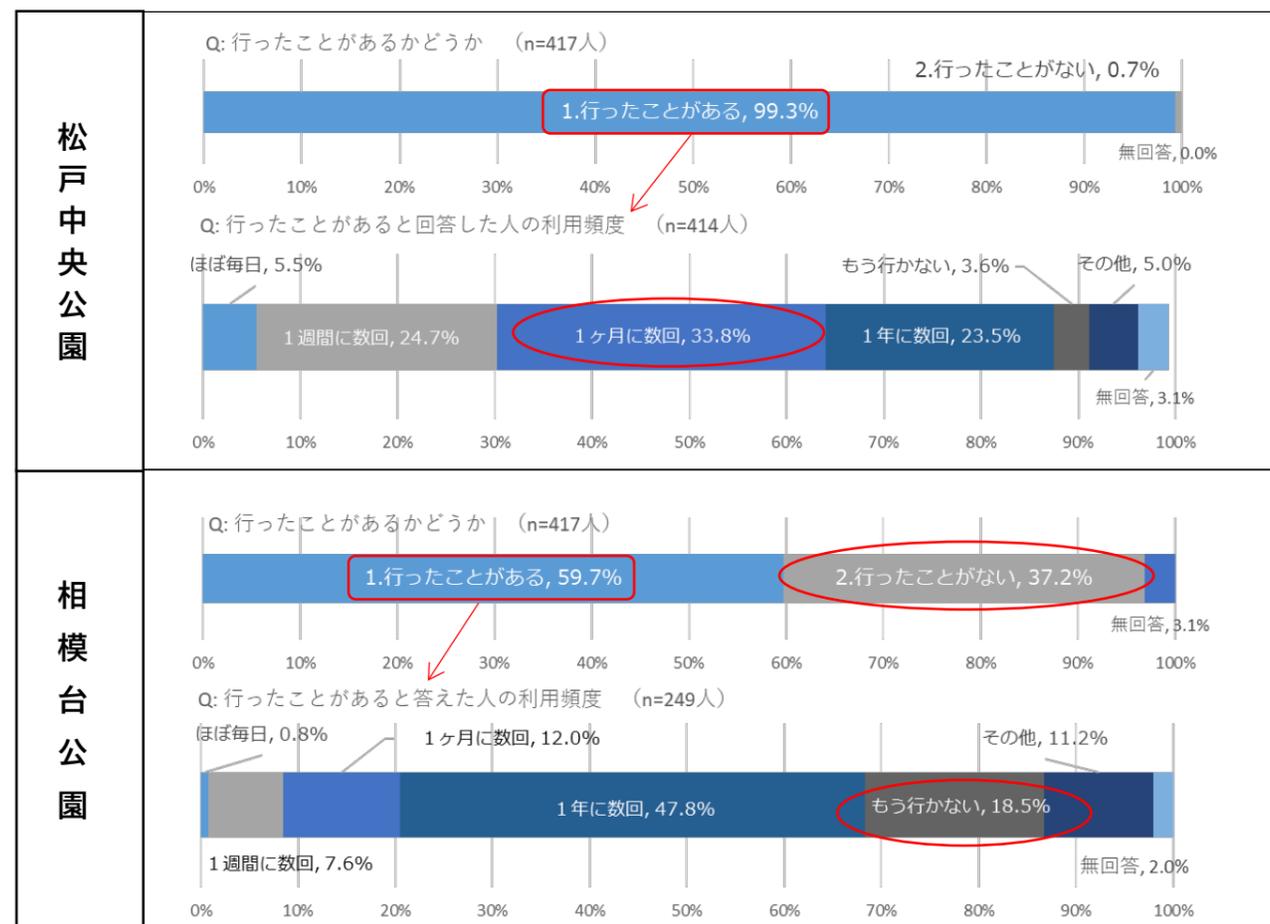
2. 回答者の基本属性

- 性別は男性が45.8%、女性が49.2%だった。(残りは無回答)
- 学年は、4年生が最も多く33.3%、続いて3年生が24.5%、5年生が20.4%、6年生が18.2%という結果だった。

3. アンケート結果

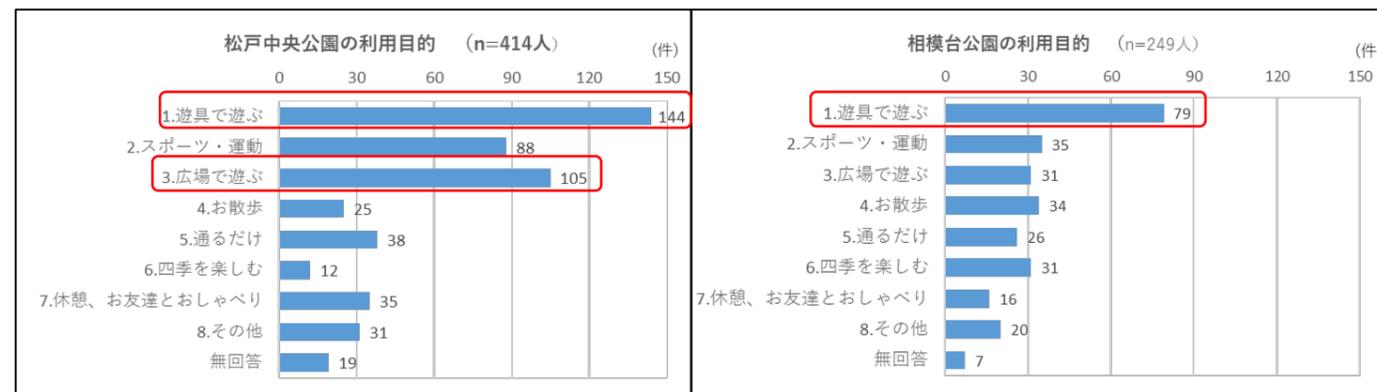
【利用頻度等】 → 4割近い児童が相模台公園には行ったことがない。

- 松戸中央公園は約99%が行ったことがあり、利用頻度は1か月に数回が最も多かった。(約34%)
- 相模台公園に行っていないのは約38%で、行ったことがある内約19%が「もう行かない」と回答。



【利用目的・理由】 どちらも目的は遊具で遊ぶだが、松戸中央公園は広場や広さも評価されている。

- 目的は、どちらの公園も「遊具で遊ぶ」が最も多く(中央：約35%、相模台：約30%)、次いで、松戸中央公園は「広場で遊ぶ」「スポーツ・運動」が20%を超えている。
- 理由は、松戸中央公園は「広い」が最も多く(約47%)、次いで「広場」「家から近い」で、相模台公園は「家から近い」が最も多く(約25%)、その他として「桜がきれい、花見」という記述が多かった。



【好きなところ】 松戸中央公園はスポーツ、広場・ベンチ、遊具を評価。相模台公園は花や草木を評価。

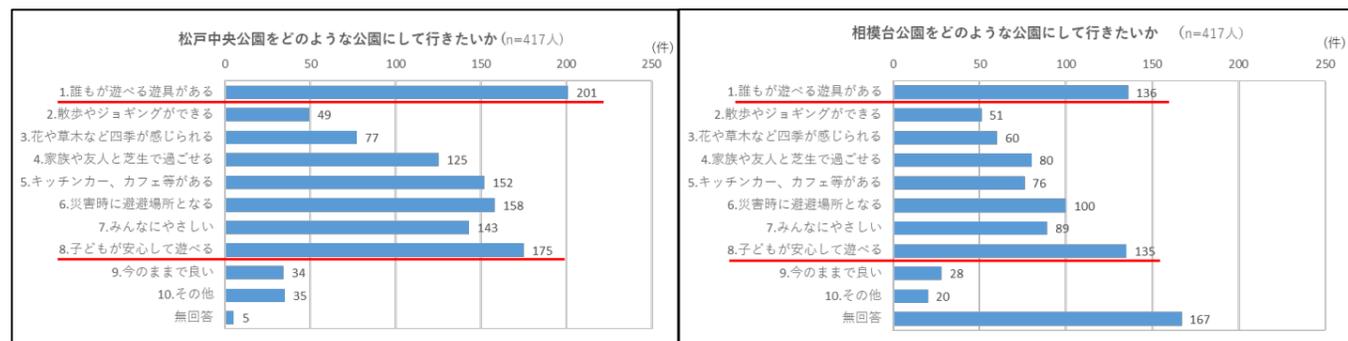
- 松戸中央公園は「スポーツ・運動」が多く、次いで「広場」や「ベンチ」、遊具が評価されている。
- 相模台公園は、「花や草木が多い」が多かった。

【改善点】 → 松戸中央公園はトイレ等施設の古さが圧倒的に多く、相模台公園は暗くて怖い。総合学習の授業でも同意見。

- 松戸中央公園は「トイレなどの施設が古い」が圧倒的に多く次いで「暗くて怖い」と続き、相模台公園は「暗くて怖い」が最も多く、「遊具が少ない」「段差が危ない」「トイレなどの施設が古い」と続いている。

【公園に望むこと】 → 誰もが遊べる遊具があって、安心して遊べることを望んでいる。

- 松戸中央公園は「誰もが遊べる遊具のある公園」が最も多く(約48%)、次いで「明るくみんなが安心して遊べる」(約42%)と続いている。
- 相模台公園も「誰もが遊べる遊具のある公園」、「明るくみんなが安心して遊べる公園」が多かった。(どちらも約32%)



【自由回答】

- 松戸中央公園は、遊具の改善、増設のほか、虫、カラス、タバコ、ゴミなどへの対策、トイレの改善、段差の解消や駐輪場の整備等の意見があった。
- 相模台公園は、アクセスの改善に関する意見が多く、併せて、「こわい、見通しが悪い」など防犯的な視点に加え、階段の改善を望む声も多かった。